

11月14日（月） 朝礼講話

先ほど、駅伝部男子が見事優勝したことを紹介しました。もちろん、選手一人一人が精一杯走ってたすきをつないだことで手に入れた優勝ですが、それだけではありません。大会前にこの体育館で全校のみんなが「がんばれよ！」「応援してるよ」と励ましてくれたことで、選手に力を与え、背中を押し、優勝につながったのだと思います。ですから、弥富中みんなで手にした優勝です。思えば、他の部にさきがけて始まった陸上でも男子が優勝し、そして、今年度最後の駅伝でも優勝しました。そして、その間に行われた各種目でもみなさんは本当によくがんばってくれました。

そんなみなさんの活躍を見るたびに、先生は思うことがあります。それは「心技体」という言葉です。聞いたことのある子もいるかもしれませんが、剣道や柔道、なぎなたや日本の国技である相撲などの武道でよく使われる言葉です。「心」、^{しん}こころ。「技」、^ぎわざ。これは技術と言った方が分かりやすいかもしれませんね。

そして、「体」、^{たい}たい。試合ではこの三つが揃って初めて一本となるそうです。そして、人としてもこの三つが揃ってこそ立派な、一人前の人間だといわれています。

その三つを同時に鍛えることができればよいのですが、そういう場面はあまりなく、多くは別々にそれを向上させます。1年生の子たちが中学に入って部活動を始めた頃、テニスやラケットを手に、ボールを使わずにひたすら素振りしていたと思います。サッカー部の子たちは、1対1で向かい合っのパス練習を多くしたと思います。こうやって基本的な技術を繰り返し練習することで、「技」技術を向上させます。

そして、「体」。今日もこうやって見るとマスクをしている人が多くいます。寒くなって風邪気味の人もいるかもしれません。いくらよい技術を身につけても、健康な体がないとそれを発揮することができません。健康に気をつけてほしいと思います。

最後の「心」。先週、1年生は福祉実践教室で、障害をもつ人々とどうかかわっ

ていくかを学びました。2年生は広島へ1泊2日に出かけ、言葉では知っている原子爆弾や戦争について実際に自分の目で見て、平和について考えてきました。それらは今すぐ行動としてなにかをできるというものではないかもしれませんが、そこで感じた福祉の心、平和の心の小さな芽を大切にもち続けてください。そしてこれから大人になっていく中で、それらをさらに大きく育て、考えていってほしいと思います。その時初めて、「心」「技」「体」の三つが揃った大人になれると思います。そんなみなさんを、先生たちは応援します。